

税理士が知っておくべき広大地評価の基礎と実務

平成29年

5月17日 水

14:00~16:20 (受付開始13:30)

会場 マネーフォワード本社
(東京都港区芝5-33-1 森永プラザビル本館23階)

定員 60名

受講料 無料



講師紹介

株式会社東京アプレイザル
代表取締役/不動産鑑定士

芳賀 則人 氏

[プロフィール]

全国の会計事務所 1000 事務所と業務提携契約を結び、年間約 200 件の不動産鑑定評価、約 320 件の広大地判定評価を中心に業務を展開している。

その一方、税理士、公認会計士、不動産業者など相続問題に直面する実務家を対象としたTAP実務セミナーを年間200講座以上開催している。

講座内容

【1】広大地の基礎(用語の意義とその概念)

- (1) 地域における標準的な宅地の地積と標準的使用
- (2) 著しく地積が広大な宅地とは
- (3) 都市計画法における開発行為
- (4) 公共公益的施設用地の負担
- (5) 中高層集合住宅等の敷地用地に適しているとは

【2】広大地調査の実務(広大地判定フロー)

- (1) マンション適地の判定と調査のポイント
- (2) 地域の標準的な宅地の捉え方
- (3) 公共公益的施設用地の有無判断

【3】広大地評価と時価評価との乖離と問題点

- (1) 広大地評価の問題点と時価評価
- (2) 広大地評価と純山林評価

